

教材に盛り込むべき事項についてのご意見

ご意見

スモンについては、資料の中に整理されておりますので、重複を避けるために直接には、資料には、触れません。

スモンに罹患した患者は、現在も、高齢化と重症化によって歩くこともできず、社会とのつながりも持てず、在宅になっております。ことに若年発祥患者は、重症者が多く（失明が多い）、生計を立てる手段も無く、老人である親の介護に頼っております。親亡き後は、どうやって生活をしていくのか悲惨です。鬱病、引きこもりなど、まさに「人間」を否定された生き方です。

是非挿入する必要があること。

国民の健康と安全を無視した企業の利益優先のための医薬品の製造、販売は、決して許されるものではありません。

私たちは、1・薬は、生命を守るためのものであること。失った機能は戻らない。

2・薬は安心して服用できるものであること。

3・薬を服用して異常がでた場合、すぐ相談できる機関が必要であること。（都道府県単位）

今後、学生のすべてがこういった問題意識を持てるようにしたいものだと思っております。

宜しくお願いいたします。

京都スモン基金

矢倉七美子